

令和２年度 第２回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 令和３年３月２５日（木） 午後１時３０分～午後２時５０分
2. 場 所 四日市市立図書館 ３階 会議室
3. 出席者 松井真理子会長、岡田博子委員、竹下すま子委員、
中井孝幸委員、花井弥生委員、福島孝直委員、
藤田一樹委員、渡部通廣委員
(会長のち、五十音順)
図書館：大森陽司館長、村林知可子副館長兼管理係長

4. 欠席者 福永智子副会長

5. 傍聴者 １人

6. 議事録概要

1. はじめに

2. 議題

(1) 令和２年度下半期における図書館事業の報告について

(2) 令和３年度図書館事業方針（案）について

(3) 令和３年度図書館実施予定事業について

(4) 令和３年度の休館日について

(5) その他

3. おわりに

1. はじめに

【館長挨拶】

2. 議題

図書館協議会条例第５条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】定数９名、出席８名。

【傍聴者確認】１名。

【非公開範囲の決定】適宜、諮るものとされた。

2. 議題

(1) 令和２年度図書館事業報告等（令和２年１０月以降）について

(事務局資料１説明)

資料以外の今年度のハード面での事業の実施について報告させていただく。

１０月１日から、３階の学習室、２階の郷土作家コーナー、２階の閲覧席の３ヵ所にWi-Fiを設置した。また、３月１６日から洋式トイレにウォシュレットを設置し利用者サービスの向上に努めた。

委員：Wi-Fiはどこに設置したのか。

図書館：3階の学習室、2階の郷土作家コーナー、2階の地域資料室の横の閲覧席の3カ所に設置した。利用時間は1回につき15分で最大1時間とした。

他市においては、制限時間の設定が2時間や、無制限のところもあるが、現在、新型コロナウイルス感染症防止による長期滞在を断っていることから、利用時間の制限を1日1回15分、4回の1時間の設定とした。

委員：利用者から、時間延長などの意見などはないか。

図書館：今のところ、特に時間に対する意見はない。

委員：講座の『旅鉄プランナー作り』について、中学生が対象となっているが、チラシなどは各学校に配布したのか。

図書館：全中学校に配布したり、校長会でも周知依頼を行ったがなかなか応募者が集まらなかった。そのため、直接、学校に出向いて、校長先生にお願いに行ったところ、先生から鉄道に興味のある生徒へ直接声掛けをしてもらったおかげで7名の参加申し込みがあった。実際、かなり鉄道が好きな子が集まり、発表なども活発に行われており、楽しんでもらえた。

委員：このような講座開催の情報を届けるのは、とても難しいので、どのようにしたのか興味があった。集まった子ども達は、友達同士といったことはなかったのか。

図書館：友達同士といったことはなかったが、それぞれの撮影した写真を見せあったり、情報共有を行うなど交流を深めていた。

委員：学校を超えたつながりができるいい機会だと思う。今回は初めてか。

図書館：初めての企画である。

委員：素晴らしいと思う。

委員：図書館でツイッターなどの情報発信はしていないのか。発信をすると、若い人で興味のある方が集まりやすいと思う。

委員：地域資料室だよりについて、いいものを作成してもらった。四日市市には、多くの有名な偉人がいるので、掲載をつづけてほしい。

図書館：不定期ではありますが、今後も継続的に作っていききたい。次は万古焼について計画している。

委員：これはどこに置いているのか。

図書館：地域資料室、地区市民センター、あさけプラザ、楠交流会館に配布している。

委員：配布しているだけでなく、置いてもらえているのか。

図書館：センターに置いてある。

委員：興味のある方も多いので、定期的に発行してもらえるといいのではないか。これは、誰が作成しているのか。

図書館：地域資料室に担当者がおり、日常業務の合間に作成をしている。以前から、検討をしており、今回、発行することになった。

(2) 令和3年度図書館事業方針(案)について

(事務局資料2説明)

委員：事業計画(案)の10番目の『視覚による読書が困難な方へのサービスの充実』について、対象者が広がっている件について、高齢者の方も増えてきていることから、市の広報などを利用してもう少しPRをしてもらってはどうか。

図書館：今年度の「広報よっかいち」4月上旬号にて準特集号で掲載はしてもらったが、まだまだ周知をしていく必要があると思っている。

委員：何かの機会にアピールをしてほしい。

委員：『視覚による読書が困難な方』の表現について、対象者を広げているのであれば、書き方について、読書が困難な方に対してと表現方法を変えてみることはどうか。

図書館：要綱の改正もしているので、表現方法を検討し、修正した事業計画書をまた後日報告させていただく。

委員：この件に関連して、現在、岐阜市、愛知県、瀬戸市において、図書館協議会の委員をしており、その3市で共通して電子書籍の運用を開始した話があった。昨日出席した瀬戸市の協議会で、瀬戸市の図書館において、読書バリアフリー法の制定に伴い、視覚による読書が困難な方をサポートするため、タイトル数は800程度ではあるが電子書籍を購入し、運用を開始することになった。ホームページに読み上げソフトが入っており、分かりやすく電子書籍の案内できるように設定してある。ただ、健常者の方も利用が出来るので早いもの勝ちになっている。電子書籍にかかる予算を読書が困難な方につけてもらったらしい。電子書籍についての課題は、本の選書で、岐阜市においては、電子書籍における選書が難しいらしくかなり職員間で揉めることがあると聞いた。

なかなか、始めるのは大変かもしれないが、そういった取り組みを始めてみるのもいいのではないかな。

図書館：電子書籍については、新型コロナウイルス感染症の影響もあって導入していく図書館も徐々に増えてきている。当市でも検討はしていく必要があることは認識しているが、電子書籍は高額で経費もかかってくる。タイトル数もすぐに出るものではないこともあって、今後検討していきたいと思っている。

委員：三重県立図書館は導入しているのか。

図書館：今のところ、導入したとは聞いていない。県内では、松阪市が導入しているとは聞いている。

委員：県立図書館が導入すると、県内の図書館も検討しやすいのではないかな。愛知県においても、県立図書館の導入により、県内の市の図書館が相談しやすくなり導入が進んだようだ。県立図書館に頑張ってもらって導入してもらおうと、市として

も進めやすくなるのではないかと。やってみないとわからないので、タイトル数が少なくても少しずつ増やしていけばいいので、検討してもらってはどうかと思う。

(3) 令和3年度図書館実施予定事業（案）について

(事務局資料3説明)

委員：『図書資料のデジタル化事業費』について、この作業は委託するのか、それとも、職員の方が作業を行うのか。

図書館：業務を委託することも検討したが、委託となると予算計上するには全体的量を把握したうえで計画を立てる必要がある。現在、デジタル化すべき資料の量を地域資料室の担当者でも把握できていない。まずは、現在保存すべきと思われる古い資料を、業務の合間に職員でやっけて行こうということになって、予算計上を行った。

委員：いろいろな業務があり大変だと思う。業務が増えて職員の方には負担にはならないのか。

図書館：時間をみながら、出来る範囲で少しずつやっけてもらっていけばと思っている。新図書館移転までに出来る限り進めていきたい。

委員：デジタル化したものを見ることは出来るのか。

図書館：今、現時点ではデジタル化したものを見てもらう準備は出来ていない。まずは保存をして、どのように見せていくかを検討していきたい。

委員：地域資料室だよりをインターネットで見ることが出来るのか。

図書館：確認して報告させていただく。

委員：折角、作成したものが、振り返ってみてもらえないのは残念なのでぜひ掲載してほしい。

委員：デジタル化事業について、業者に委託するより、地域のボランティアの方と協働で作業してみてもどうか。データの掲載についても、昔の書類を現代風に文字起こしすればインターネットにあげることが可能なのではないかと。心配なのは、手間がかかって進まないのでは、折角の作業が無駄になりもつたのではないかと。地域の人達をうまく使って活動を進めてもらうことも考えてどうか。

図書館：現在、博物館で同様の作業を行っており、実際の作業している現場を担当者と見学したところ、それほど負担のかかる作業ではないことが確認出来たこともあり進めて行こうと思った。今後、実際作業を行って、労力がかかるようであれば委員が言われたような方法も考えていく必要があるのかと思う。

委員：今、各地域には郷土史家の方、古い事が好きな方、退職された方とかで好きな方が多く見えるのでつなげていくのは、すごく面白いのでは、可能性はあると思う。

委員：先ほどの中学生と鉄道マニアと同じで、知らないだけで、そういった古い資料を扱う作業を好きな人は多く見えて、好きな人は資料も丁寧に扱うので

はないかと思う。扱いの仕方について、最初にきちんとレクチャーすればうまく分業が出来るのではないかと。是非、検討していただきたい。

委員：『図書資料整備費』について、財源内訳について図書等弁償金 1 千円は、無くした方が支払うお金か。

図書館：仰る通りで歳出予算の財源として、仮置きで上げた数字である。

委員：例年と同じ計上か。

図書館：同じである。実際、歳入としては納付されるとは限らないが、計上している。

委員：実際、弁償するとなった時の基準は決められているのか。本の単価に対して何割かであるとか。

図書館：実際は、基本は現物での弁償となっている。売っていないとか、購入が出来ない場合、同じテーマの内容で、同程度の金額の本をこちらから提示して、納めてもらったりしている。

(4) 令和3年度の休館日について

(事務局資料4 (カレンダー) 説明)

質問事項については特になし

(5) その他

新図書館について説明させていただく。

配布した資料は、市の政策推進課において、来年度予算として中心市街地拠点施設整備事業における基本計画策定経費を説明したものである。

委員：計画段階ではあると思うが、開館はいつ頃となるのか。

図書館：現時点では令和9年度開館予定となっている。

委員：楽しみにしている。

委員：前任の館長の時から、協議会としてやるべきことをいつも話し合いを行ってきて、策定時にも委員として関わらせてもらったので責任もあると思う。これから、もっと図書館協議会としての役割はとても大きいと思うので、情報があれば、その都度報告をしてほしい。何か私たちで、声を上げていく、押さえていきたい点があれば言っていきたい。

図書館：この計画の事業は、まだ具体的にどのように進めていくか、前回と同様の進め方をするのかは情報は入ってきていない。今後、図書館として具体的な話に、入っていくことにはなると思うので、その際は協議会にご意見をいただくことになると思う。

委員：私はボランティアとして協議会の委員をさせてもらっている。他のボランティアの方も新図書館について気にかけている。新図書館の話が出始めた頃は、直接館長がボランティアを対象に説明会を催してもらった。計画が具体的に変わってくるのであれば直接説明をしてもらいたい。

図書館：今回予算が認められたので、来年度動きがある。図書館に関わってい

ただいている方には情報が提供出来るようにしていきたい。

委員：蔵書の予算について、何年か増えていないが、図書館が新しくなり広くなっても急に蔵書を増やすことは難しいと聞いている。新図書館に向けて予算は付けてもらえないのか。

図書館：現在、新型コロナウイルスの影響で税収がなかなか伸びない状況でのなんとか同額を確保した状況である。新図書館の目途が立てばそれに向けての計画を立てていくことについて、財政と調整を図りながら進めて行きたいと思う。

委員：資料を見せてもらおうと、新図書館の場所については、また3カ所から検討を行うのか、それともスターアイランドの跡地で検討を進めて行くのか。

図書館：今回のこの予算については、スターアイランドの跡地に建設した場合に、どうなるか調査を行うための予算である。これまで市役所東側について検討を行い、次に3カ所の候補地でそれぞれ検討を行ってきた。今まで調査したものを参考として、スターアイランドの跡地に建設した場合について検討していこうとするためのものである。実際に調査検討をするのはスターアイランド跡地であり、そのための計画予算である。

委員：以前の3カ所の候補地から、調査の対象がスターアイランド跡地の1カ所になって、少しは進展したと思っていいのか。

図書館：スターアイランド跡地、JR駅前、庁舎東側について比較検討をした結果、スターアイランド跡地が優位性が高いという事で行政として判断した。次に、そこに建設した場合どうなるか検討していく形で進めて行く。

委員：計画がなかなか進展していないようだったので質問させてもらった。

図書館：本来であれば、今年度の4月からいろいろと進めて行くと聞いていたが、今回、新型コロナウイルスの影響で遅れがあった。今回、予算が付いたことで、計画が進んでいくと思う。

委員：建設地がスターアイランド跡地と確定したのは、いつの議会で決まったのか。

図書館：まだ、建設地がスターアイランド跡地で確定したわけではなく、調査し検討していく予算が今回認められたという事である。ただし、議会では調査を行うことは認められたが、場所の決定について承認を得たものではない。

委員：前回の協議会の際、近鉄側との協議停滞の新聞記事を見せてもらったが、そこからは交渉が進み、近鉄側と交渉のテーブルに着いたと思っていいのか。

図書館：今年の1月に入ってから、近鉄と検討していこうという合意には至っている。

委員：市役所東側で計画を進めていた際は、かなり細かいところまで検討をしてきた。今回のスターアイランド跡地において、今後は面積であったり、階層であったりある程度の設計に近い図は出来上がってくると思う。その際、以前のように図書館協議会の委員が関わらせてもらえるのかはわからないが、前回にいろいろと要望を上げさせてもらったように、図書館協議会として、図書館

としての要望、『面積、蔵書、職員』について要望書等を作成して出していく必要があるのではないかと。市の当局だけで進めてもらう事のないようにするべきではないかと。

図書館：今後、どのように進めて行くのかについては、まだ聞いていない。現時点で分かっているのは、この資料の内容のみである。今後の動きについてはわからないこともあるので、皆さんの意見がいただけるような状況で進めることが出来るようにしていきたい。

委員：一番心配なのは、面積もあるが駐車場の問題である。市役所東側の際も駐車場でかなり揉めていた。今回、駅の近くという事で駐車場は必要ないだろうとなると困る。やはり、四日市市の中央図書館なので、全員が公共交通機関で来るのは難しい。ある程度の駐車場の台数は図書館として用意する必要があると思う。やはり、駐車場がないと利用されにくい。一宮市が駅の側に建てたが、駐車場の台数がかなり少なく、無料時間が1時間と短い事から、利用者数があまり伸びていない。せっかく、いい図書館を建てても、利用されないのであればもったいない。

図書館：今回の資料にも、駐車場についての記載がある。必ず指摘を受ける事なので、どこの場所であっても、検討が必要となってくる。どういう形で出来るのか協議していくことになると思う。

委員：市長がこちらで図書館を建てる思いがあるようなので、どのような形であっても進むのではないかと。市長に良い図書館を見ていただくこともいいのではないだろうか。一緒に行って、良い図書館を視察してもらおうといいと思う。市長が図書館に興味を持ってもらおうようにしていくのも良いのではないかと。

会長：他になければ議題を終了としたい。

3. おわりに

(事務局) 承認いただいた令和3年度の事業計画に、しっかりと取り組んでいきたい。